

「いのちの授業」の実施概要

以下に、生命のメッセージ展と被害者遺族による講演を組み合わせた「いのちの授業」の実施について、その一般的な概要をご説明いたします。

1. 対 象：
幼稚園児、小学生低学年～高学年、中学生、高校生、大学生、教職員、保護者、教育施設の近隣住人
2. 開催期間：
展示の準備・撤収作業を含めて、最長で1週間程度。対象者、プログラムの構成により、期間の調整が可能です。
3. 展示説明：
対象者の年齢を勘案して選抜した30名のメッセンジャーで構成するミニ・生命のメッセージ展を出前開催します。
展示品の内容は以下の通りです。
 - 人型パネル（メッセンジャー） 30命
 - 遺品の靴（30命分）
 - A1サイズ、説明パネル。「生命のメッセージ展とは」と「生命の重み」
 - 上記パネル展示用のイーゼル2台
 - 「生命のメッセージ展」の横断幕
4. 講 演：
生命のメッセージ展を体験後、犯罪被害者遺族の講演（1時間程度）を実施。
5. 成 果 物：
「誓いの葉」に体験後の心情を記入。エクセルシートに全員分のメッセージを入力。データはミュージアムに提出。葉は記入した本人に返却。
6. 費 用：
当団体の活動協賛として、展示期間の長さに関係なく一回の実施につき5万円を目安としてご協力をお願いいたします。講演謝金として2万円～3万円、講師の交通費、展示品一式の送料実費（凡そ、往復で1万円程度）を申し受けさせていただきます。

尚、費用のご負担が困難な場合には遠慮なくご相談ください。年賀寄附配分事業からの助成金の利用措置があります。
7. その他：
ファンドレイジングへのご理解とご協力をお願いいたします。

いのちの授業は、生命のメッセージ展の説明DVDの鑑賞、生命のメッセージ展の体験、体験後の講演、誓いの葉のメッセージ文作成が基本構成となっておりますが、実施プログラムに関しては、ご要望、ご希望に合わせて柔軟に対応させていただきます。

「いのちの授業」を実施する際のご提案とお願い

1. 事前学習として DVD の活用

生命のメッセージ展のニュース映像（約8分）を事前に鑑賞することを推奨します。メッセンジャーがどのように誕生し、どのような想いがこめられた活動であるかをニュース映像から受け取り、その印象を実際の体験により再確認することができます。

2. 事前体験のすすめ

ご担当される教職員、PTAの役員や保護者の皆様には、生命のメッセージ展を事前に体験することをおすすめします。常設展示施設である日野市の「いのちのミュージアム」又は、近隣で開催される生命のメッセージ展やミニ・生命のメッセージ展の会場に足をお運びください。

開催情報につきましては、Googlemapにてご確認いただけます。尚、公開・非公開の別がありますので、詳しくはいのちのミュージアムまでお問い合わせください。

生命のメッセージ展の開催情報 <http://goo.gl/maps/pNn2>

ミニメッセージ展の開催情報 <http://goo.gl/maps/FLrV>

3. 誓いの葉

全員のメッセージに目を通し、短い文章の中に生徒、児童の貴重な心模様を発見することに活用いただけます。

キーワードから、命の大切さの気づき、規範意識、他者への思いやり、家族への感謝、生きることへの希望、自傷、自殺行為への反省等が読み取れます。

メッセージ文はテキストデータとしていのちのミュージアムにご提供いただけましたら、キーワードによる分類結果をご報告させていただきます。

葉の現物は、いのちの授業の成果物として、教育現場での再利用、又は児童・生徒に返却し、体験したことによる心情の記録として活用いただくことを提案します。

4. ファンドレイジングへの協力とは

私ども NPO の活動への理解と、その理解に基づいた寄附行為の啓発として、希望者には私達が推進する寄附企画「一元倶楽部」への参加をご検討いただきたく思います。

日常の平穩無事に感謝し、一元倶楽部専用貯金場に貯金し、一年に一度、当団体への寄附をお約束いただく企画です。

当団体では、一元倶楽部の寄附を財源として、いのちの授業を全国の学校にお届けしたいと考えております。

「自分は加害者にはならない」という意識を青少年の心に植え付けることで、犯罪のない安全な社会という実が成ることに、参加いただければ大変うれしく思います。